

私と日本：一年を振り返って

日本に来てからもう10ヵ月たったなんて、信じられませんね。大山に着いたばかりの迷子の自分を思い出すと、まるで別人みたいだと思います。ドジなところは全部なくなったとは言えないんですが...

2月に、日本に着いた時から春休みまでの間を振り返りましたが、春休みからさらに色々なことを体験することができて、前半とは比べものにならないと思います。

春休みに東京を出て、友達と一緒に京都と名古屋を訪ねることができました。東京とはまた違う感じがして、そして素敵で興味深い城、神社、自然などを見ることができました。しかし一番印象に残ったのは友達の家族の家に泊まったことでした。友達の家族はあたたかくて、日本での日常生活を想像することもできたし、短くても大事な経験だったと思っています。



関西以外にも小さな旅に出たりして、都内の大きいビルや歴史的な神社やお寺も見て、美味しいものを食べてみて、以前より少しだけでも日本のことが分かるようになったと思います。日本に帰ることがあったら行きたいところはまだまだたくさんありますが。

それにももちろん、大学での勉強がなかったら、自分の日本語能力はここまで上達しませんでした。時々難しいとも思っていたんですけど、ちゃんとそういう頭を働かせる、考えさせる授業もあるというのは私のお茶大を好きなのところの一つです。

それで、この留学を通して、やはり一番助けになったのは支えてくれる人の存在です。

先生達はもちろん、いつも私の勉強を応援して、ミスを丁寧に直して、色々教えてくれました。

そして友達（留学生のもの、日本人のもの）は私をたくさんの面白いところに連れて行って、落ち込んでいる時にそばにいてくれて、本当になくてはならない存在です。

チューターの菊地さんも最初から私の留学生活を応援して、困っている時に助けてくれました。

みんなに感謝しています。

日本に来る前には、「もし友達ができなかったら？もしひとりぼっちになったら？」みたいな不安がありました。この支えてくれた人たちのおかげで、そんなさびしい気持ちは一度も感じませんでした。

日本にいる間、「初めてのこと」がたくさんありました。初めてのカラオケから初めての山登りまで、全部リストにしたら、文章が10倍ぐらい長くなると思いますが...

日本にいる時間はあまりにも楽しくて、もうすぐ終わるといのはさみしい気がしますが、その数多くの「初めてのこと」は、「一度だけのこと」というわけではないと気づきました。これが「最後の日本」というわけではないんです。それにイギリスに帰っても、出会った人や見た場所の思い出はずっと心に残ります。そして将来と向き合って、これからも「初めてのこと」と出会い続けます。

